

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月2日

上場会社名 日立金属株式会社
 コード番号 5486 URL <http://www.hitachi-metals.co.jp/>
 代表者 (役職名) 執行役社長 (氏名) 持田 農夫男
 問合せ先責任者 (役職名) コミュニケーション室長 (氏名) 釜谷 和嗣
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月10日

上場取引所 東 大

TEL 03-5765-4075

(百万円未満四捨五入)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	496,745	—	32,934	—	29,424	—	9,597	—
20年3月期第3四半期	527,389	10.9	44,190	12.0	42,645	9.7	22,360	22.6

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第3四半期	27.22	—	—	—
20年3月期第3四半期	63.20	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
21年3月期第3四半期	578,134		230,700		36.1		591.39	
20年3月期	619,466		235,507		34.4		604.22	

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 208,470百万円 20年3月期 213,026百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
21年3月期	—	7.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	592,000	△15.6	12,000	△79.9	7,500	△86.2	0	—	0.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名) — 除外 — 社(社名) —
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(2)をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 有
 (注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他(3)をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 366,557,889株 20年3月期 366,557,889株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 14,051,491株 20年3月期 13,996,744株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 352,526,758株 20年3月期第3四半期 353,792,777株

* 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想値と異なる場合があります。前記の予想に関する事項については、添付資料の3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、改正後の「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国発の金融危機が世界に波及して、欧米の景気が後退し、アジアでも減速しました。また、わが国経済も設備投資が減少するなど景気が悪化しました。

当社グループの関連業界では、自動車は、米国で販売不振が続き、欧州及びアジアでも減速傾向となり、国内販売も低迷が続きました。半導体は、メモリー業界の不振が続きました。携帯電話は、中国等の新興国では比較的堅調でしたが、国内需要は低迷しました。パソコンは、景気後退の影響から減速傾向となりました。鉄鋼は、前半の堅調な需要から一転して、内外需とも減速傾向となりました。国内建設は、住宅着工が依然低水準で、公共投資も低迷しました。

このような厳しい事業環境の中、当社グループも第2四半期後半からの自動車市場の急減速やエレクトロニクス関連業界の低迷、設備投資の抑制などの影響を受け、需要が減少したことから、第3四半期連結累計期間の売上高は、496,745百万円となりました。利益面では、売上減の影響が大きく、営業利益は、32,934百万円、経常利益は、29,424百万円となりました。また、投資有価証券評価損等を特別損失として計上したことにより、四半期純利益は、9,597百万円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおります。

①高級金属製品

当セグメントの売上高は、222,879百万円となりました。また、営業利益は、14,962百万円となりました。

主要製品の売上の状況は以下のとおりです。

<金型・工具用材料>

自動車・家電等関連市場の減速の影響は、比較的軽微に留まり、第2四半期までを中心に、国内および輸出とも需要が堅調に推移したことにより、増加しました。

<電子金属材料>

液晶パネル関連材料は、第2四半期まではアジア向けが好調だったこともあり、前年同期並みとなりました。一方、半導体等パッケージ材料は、メモリー業界の需要が回復せず、減少しました。その結果、電子金属材料全体で減少しました。

<各種ロール>

鉄鋼減産の影響が比較的軽微に留まったことや第2四半期までは需要が好調に推移し、増加しました。

<射出成形機用部品>

射出成形機市場の冷え込みが一段と厳しくなり、減少しました。

<切削工具>

自動車・エレクトロニクス関連市場、設備投資などの急速な悪化を受け、減少しました。

②電子・情報部品

当セグメントの売上高は、117,369百万円となりました。また、営業利益は、12,808百万円となりました。

主要製品の売上の状況は以下のとおりです。

<硬質磁性材料>

希土類磁石は、自動車・家電関連の減産、FA等設備投資の抑制の影響を受けましたが、第2四半期までは好調に推移したことで、前年同期並みとなりました。フェライト磁石は、自動車向け需要の落ち込みが大きく、減少しました。その結果、硬質磁性材料全体で減少しました。

<軟質磁性材料>

ソフトフェライトは、需要が減速し、減少しました。ファインメットも、需要が低迷し、減少しました。アモルファス金属材料は、中国・インドを中心とした変圧器向け需要が好調だったことから、増加しました。その結果、軟質磁性材料全体で増加しました。

<携帯電話用部品>

アイソレータは、基地局向けが堅調に推移したことで増加しました。積層部品は、第3四半期での需要減少の影響が大きく、減少しました。その結果、携帯電話用部品全体で減少しました。

③高級機能部品

当セグメントの売上高は、156,357百万円となりました。また、営業利益は、8,398百万円となりました。

主要製品の売上の状況は以下のとおりです。

<高級ダクタイル鋳鉄製品>

第2四半期までは需要が好調に推移したことから、増加しました。

<耐熱鋳造製品>

北米向けを中心に需要が減少しました。

<アルミホイール>

国内、北米とも自動車減産の影響を受け、減少しました。

<各種管継手>

国内の住宅投資が依然として低水準で推移し、減少しました。

<ステンレス及びプラスチック配管機器>

国内は、住宅投資が依然として低水準で推移し、米国も住宅投資の低迷により、減少しました。

<内装システム及び構造システム>

内装システムは、電算室及びオフィス用が回復基調となり、構造システムは、主力商品の鉄骨柱脚が好調に推移し、増加しました。

④サービス他

当セグメントの売上高は、74,657百万円となりました。また、営業利益は、1,112百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、営業活動の結果得られた収入が投資活動に使用した支出とほぼ同水準となりましたが、財務活動による支出7,917百万円等があり、前連結会計年度末に比べ11,313百万円減少し、36,508百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、30,246百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が25,075百万円となったことのほか、売上債権の減少による収入18,392百万円があったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動に使用した資金は、30,321百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出31,620百万円があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動に使用した資金は、7,917百万円となりました。これは主に配当金の支払額5,224百万円、利息の支払2,377百万円があったことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

昨今の経済情勢は、想定をはるかに超えるスピードと世界的規模で景気が悪化する深刻な状況であり、当社グループの関連業界である自動車市場やエレクトロニクス関連市場における需要減少や設備投資の抑制などが拡大しております。今後も極めて厳しい事業環境が続くことが予想され、平成20年12月16日公表の平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）通期連結業績予想を次のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	619,000百万円	29,700百万円	27,000百万円	5,000百万円
今回修正予想(B)	592,000百万円	12,000百万円	7,500百万円	0百万円
増減額(B)－(A)	△27,000百万円	△17,700百万円	△19,500百万円	△5,000百万円
増 減 率	△4.4%	△59.6%	△72.2%	－
(ご参考)前期実績 平成20年3月期	701,075百万円	59,698百万円	54,448百万円	27,034百万円

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し第2四半期連結会計期間に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

一部の連結子会社は、固定資産の減価償却費の算定方法について合理的な予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法により算定しております。

③ 繰延税金資産及び負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等や一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度末の検討において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法により算出しております。また、前連結会計年度末以降に経営環境等や一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法により算出しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

(会計基準等の改正に伴う変更)

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、改正後の「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号）を第1四半期連結会計期間から早期適用し、平成20年4月1日以降にリース取引開始となる契約について、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

③ 第1四半期連結会計期間より「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第18号）を適用し、連結決算上必要な修正を行っております。なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微です。

(会計基準等の改正以外の変更)

投資家の企業価値への関心の高まりをうけて、支払利息を支払配当金同様に資本コストと認識する企業価値算定に適した区分に合わせるため、第1四半期連結会計期間より、前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に含めていた利息及び配当金の受取額を、「投資活動によるキャッシュ・フロー」の区分に含め、利息の支払額を「財務活動によるキャッシュ・フロー」に含めることに変更しております。これらの変更により、前連結会計年度の方法によった場合と比較して、当第3四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、1,631百万円増加し、「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、746百万円増加し、「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、2,377百万円減少しております。ただし、キャッシュ・フローの純額、すなわち「現金及び現金同等物」の減少額11,313百万円には、これらの変更による影響はありません。

(追加情報)

当社及び国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、法人税法の改正を契機として資産の利用状況等を見直した結果、機械装置等の耐用年数を変更しております。この変更に伴い、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ689百万円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,612	36,856
受取手形及び売掛金	99,117	123,678
関係会社預け金	5,528	10,620
商品及び製品	51,166	47,272
仕掛品	38,158	37,851
原材料及び貯蔵品	35,835	36,834
その他	24,078	23,100
貸倒引当金	△409	△479
流動資産合計	284,085	315,732
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	58,350	59,723
機械装置及び運搬具（純額）	89,113	83,800
土地	52,111	53,031
その他（純額）	14,976	18,940
有形固定資産合計	214,550	215,494
無形固定資産		
のれん	47,511	49,931
その他	5,956	5,403
無形固定資産合計	53,467	55,334
投資その他の資産		
投資有価証券	11,522	17,351
その他	16,483	17,264
貸倒引当金	△1,973	△1,709
投資その他の資産合計	26,032	32,906
固定資産合計	294,049	303,734
資産合計	578,134	619,466

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	80,969	98,671
短期借入金	60,921	50,981
1年内返済予定の長期借入金	18,561	20,980
1年内償還予定の社債	6,532	11,249
未払法人税等	5,166	11,942
引当金	191	294
その他	37,410	45,695
流動負債合計	209,750	239,812
固定負債		
社債	34,000	40,008
転換社債型新株予約権付社債	40,000	40,000
長期借入金	26,912	27,209
退職給付引当金	26,671	25,891
その他の引当金	4,330	4,456
その他	5,771	6,583
固定負債合計	137,684	144,147
負債合計	347,434	383,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,284	26,284
資本剰余金	41,244	41,241
利益剰余金	166,446	161,488
自己株式	△10,637	△10,552
株主資本合計	223,337	218,461
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	403	△208
為替換算調整勘定	△15,270	△5,227
評価・換算差額等合計	△14,867	△5,435
少数株主持分	22,230	22,481
純資産合計	230,700	235,507
負債純資産合計	578,134	619,466

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	496,745
売上原価	401,010
売上総利益	95,735
販売費及び一般管理費	62,801
営業利益	32,934
営業外収益	
受取利息	460
受取配当金	183
その他	4,521
営業外収益合計	5,164
営業外費用	
支払利息	2,164
為替差損	1,806
その他	4,704
営業外費用合計	8,674
経常利益	29,424
特別利益	
固定資産売却益	113
関係会社株式売却益	638
特別利益合計	751
特別損失	
固定資産処分損	40
減損損失	107
投資有価証券評価損	4,435
関係会社事業損失引当金繰入額	368
関係会社貸倒引当金繰入額	150
特別損失合計	5,100
税金等調整前四半期純利益	25,075
法人税、住民税及び事業税	12,066
法人税等調整額	1,450
法人税等合計	13,516
少数株主利益	1,962
四半期純利益	9,597

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	25,075
減価償却費	23,351
のれん及び負ののれん償却額	1,776
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,435
受取利息及び受取配当金	△643
支払利息	2,164
売上債権の増減額 (△は増加)	18,392
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△7,957
仕入債務の増減額 (△は減少)	△13,516
未払費用の増減額 (△は減少)	△5,831
その他	5,114
小計	52,360
法人税等の支払額	△22,114
営業活動によるキャッシュ・フロー	30,246
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の売却による収入	879
有形固定資産の取得による支出	△31,620
有形固定資産の売却による収入	1,646
無形固定資産の取得による支出	△1,769
利息及び配当金の受取額	746
その他	△203
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,321
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	11,863
長期借入れによる収入	4,781
長期借入金の返済による支出	△6,313
社債の償還による支出	△10,565
利息の支払額	△2,377
自己株式の売却による収入	19
自己株式の取得による支出	△101
配当金の支払額	△4,583
少数株主への配当金の支払額	△641
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,917
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,068
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,060
現金及び現金同等物の期首残高	47,821
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△253
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,508

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、改正後の「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	高級金属製品 (百万円)	電子・情報部品 (百万円)	高級機能部品 (百万円)	サービス他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	201,586	90,985	134,182	69,992	496,745	—	496,745
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	21,293	26,384	22,175	4,665	74,517	△74,517	—
計	222,879	117,369	156,357	74,657	571,262	△74,517	496,745
営業利益	14,962	12,808	8,398	1,112	37,280	△4,346	32,934

(注) 1. 事業区分の方法

製品の種類、製造方法、販売方法等の類似性、収益管理等の単位を勘案し、事業区分を行っております。

2. 各事業区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
高級金属製品	金型・工具用材料、電子金属材料（ディスプレイ関連材料、半導体等パッケージ材料）、各種ロール（鉄鋼圧延用ロール・非金属圧延用ロール・非金属用ロール）、射出成形機用部品、構造用セラミックス部品、鉄骨構造部品、切削工具
電子・情報部品	硬質磁性材料（フェライト・希土類[NEOMAX®]・鋳造・ボンドマグネットおよびその応用品）、携帯電話用部品（アイソレータ、積層部品）、IT機器用材料・部材、軟質磁性材料（ソフトフェライト、ナノ結晶軟磁性材料[ファインメット®]、アモルファス金属材料[Metglas®]）
高級機能部品	高級ダクタイル鋳鉄製品、耐熱鋳造製品、アルミホイール、その他アルミニウム製品、各種管継手、ステンレスおよびプラスチック配管機器、冷却水供給装置、精密流体制御機器、内装システム、構造システム
サービス他	その他の販売・サービス等

3. 本セグメント情報の金額は消費税等抜きで表示しております。

b. 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	349,766	56,491	65,441	25,047	496,745	—	496,745
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	72,183	5,209	28,809	204	106,405	△106,405	—
計	421,949	61,700	94,250	25,251	603,150	△106,405	496,745
営業利益	26,087	4,324	5,368	992	36,771	△3,837	32,934

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北 米 ……米国

(2) ア ジ ア ……シンガポール・中国・香港・台湾・タイ・フィリピン・韓国

(3) そ の 他 ……ドイツ

3. 本セグメント情報の金額は消費税等抜きで表示しております。

c. 海外売上高

当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）

	北 米 (百万円)	アジア (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)
I. 海外売上高	49,419	107,848	32,642	5,752	195,661
II. 連結売上高					496,745
III. 海外売上高の連結 売上高に占める割合	9.9%	21.7%	6.6%	1.2%	39.4%

(注) 1. 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

(1) 北 米 ……米国・カナダ

(2) ア ジ ア ……韓国・中国・香港・台湾・シンガポール

(3) 欧 州 ……EU諸国

(4) そ の 他 ……中南米

3. 海外売上高は、提出会社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

4. 売上高の金額は消費税等抜きで表示しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表等

(1) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金額
売上高	527,389
売上原価	415,306
売上総利益	112,083
販売費及び一般管理費	67,893
営業利益	44,190
営業外収益	5,564
受取利息及び配当金	1,061
持分法による投資利益	20
雑収益	4,483
営業外費用	7,109
支払利息	2,964
雑損失	4,145
経常利益	42,645
特別利益	4,622
固定資産売却益	4,239
関係会社株式売却益	268
確定拠出年金制度移行差益	115
特別損失	5,265
固定資産処分損	661
固定資産減損損失	11
事業構造改革特別損失	2,304
関係会社貸倒引当金繰入額	284
関係会社債務保証損失引当金繰入額	988
確定拠出年金制度移行に伴う損失	236
訴訟和解費用	114
独占禁止法違反課徴金	667
税金等調整前四半期純利益	42,002
法人税等	17,514
少数株主利益	2,128
四半期純利益	22,360

(2) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	42,002
減価償却費	21,864
のれん及び負ののれん償却額	1,460
事業構造改革特別損失	2,304
関係会社貸倒引当金繰入額	284
関係会社債務保証損失引当金繰入額	988
訴訟和解費用	114
退職給付引当金の減少額(△)	△383
有形固定資産売却益	△4,607
有形固定資産処分損	1,428
固定資産減損損失	11
受取利息及び受取配当金	△1,061
支払利息	2,964
売上債権の減少額	2,106
たな卸資産の増加額(△)	△5,171
仕入債務の増加額	5,633
その他	△3,313
小計	66,623
確定拠出年金移管金の支払額	△47
事業構造改革特別損失の支払額	△283
利息及び配当金の受取額	1,167
利息の支払額	△2,970
法人税等の支払額	△15,289
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,201
投資活動によるキャッシュ・フロー	
投資有価証券の取得による支出	△1,311
投資有価証券の売却による収入	388
連結子会社株式の追加取得による支出	△406
連結子会社株式の売却による収入	778
有形固定資産の取得による支出	△33,920
有形固定資産の売却による収入	7,092
無形固定資産の取得による支出	△2,501
その他	△442
投資活動によるキャッシュ・フロー	△30,322

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金純減少額(△)	△66,700
長期借入による収入	10,000
長期借入金の返済による支出	△8,113
社債の発行による収入	60,000
社債の償還による支出	△5,000
自己株式の売却による収入	4
自己株式の取得による支出	△2,793
親会社による配当金の支払額	△3,849
少数株主への配当金の支払額	△566
少数株主の増資引受による払込額	2,003
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,014
現金及び現金同等物に係る換算差額	△173
現金及び現金同等物の増加額	3,692
現金及び現金同等物の期首残高	47,020
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,712

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

	高級 金属製品 (百万円)	電子・ 情報部品 (百万円)	高級機能部品 (百万円)	サービス他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	194,204	118,252	145,961	68,972	527,389	—	527,389
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,271	27,843	20,907	11,890	84,911	△84,911	—
計	218,475	146,095	166,868	80,862	612,300	△84,911	527,389
営業利益	21,087	15,668	12,425	519	49,699	△5,509	44,190

b. 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	アジア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	371,202	63,755	68,903	23,529	527,389	—	527,389
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	71,367	11,342	33,165	499	116,373	△116,373	—
計	442,569	75,097	102,068	24,028	643,762	△116,373	527,389
営業利益	38,584	5,046	4,858	1,033	49,521	△5,331	44,190

c. 海外売上高

前第3四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年12月31日）

	北米 (百万円)	アジア (百万円)	欧州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)
I. 海外売上高	55,656	119,744	30,557	7,172	213,129
II. 連結売上高					527,389
III. 海外売上高の連結 売上高に占める割合	10.5%	22.7%	5.8%	1.4%	40.4%